

別紙 1

特定施設（大気基準適用施設）の構造

工場又は事業場 における施設番号	NO. 1	→施設ごとに適宜一連番号を入れる。	
特定施設号番号及び名称	第5号廃棄物焼却炉	→様式第1の特定施設の種類の記入する。	
型 式	〇〇製 〇〇-△△	→製造会社名、型式を記入する。	
施設の設置場所	別図第1図のとおり	→事業場図面を添付する。（敷地内における建物の配置を図示し、主要建物の名称、特定施設並びにサイクロン、煙突等の処理施設の設置場所を明記する。（特定施設等に色をつけてもよい。） ・・別紙参照	
設置年月日	年 月 日	→使用届及び変更届の場合記入し、特定施設施設を設置した日を記入する。	
工事着手予定年月日	H16年 10月 10日	→設置届け及び変更届の場合記入し、特定施設に係る関係工事（基礎工事含む）に着手する予定年月日を記入する。	
工事完成予定年月日	H16年 11月 10日	→設置届け及び変更届の場合記入し、特定施設に係る工事完成予定年月日を記入する。	
使用開始予定年月日	H16年 11月 20日	→設置届け及び変更届の場合記入し、特定施設の本運転を行う日を記入する。	
規 模	原料の処理能力 (t/h)		
	変圧器の定格容量 (KVA)		
	炉の容量 (t)		
	焼 却 能 力 (k g / h)	8 0	→この施設で燃焼する焼却物による最大焼却量（1時間当たり）を記入する。
	火 床 面 積 (m ²)	0. 8	→火格子（ロストル）がある場合も、火床面積として記入する。
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項			

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、令別表第1に掲げる施設に係る項目について記載すること。
- 3 特定施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付のこと。

別紙 2

特定施設（大気基準適用施設）の使用の方法

工場又は事業場 における施設番号		NO. 1	→別紙1 特定施設の構造に記入した施設番号を記入する。
使用状況	1日当たりの使用 時間及び月使用 日数等	10時 ～ 16時 20日/月	→当該施設に最も多く使用する期間における平均 状況を記入する。
	季節変動	なし	→使用しない月を記入する。 (例 4月～6月休止)
原料及び 燃料 (ダイオキ シン類の発 生に影響の あるものに 限る。)	種類	木くず、紙くず、廃プラ	→焼却する種類について記入する。
	使用割合	木くず80%、紙くず10% 廃プラ10%	→上記種類に明記したものの割合を記入する。
	原料又は燃料中 の塩素分の成分 割合(%)	木くず 0.15% 紙くず 0.15% 廃プラ 1.0%	→原料又は燃料中とは、灰分を含むものとする。
	1日の使用量	300kg	→当該施設を最も多く使用する期間における平均 使用量を記入する。
排出ガス量(m ³ /h)		最大1,000 通常 700	→最大はバーナー、焼却物等を最大利用したとき のものであり、通常は一般的に使用する場合のも のである。
排出ガス温度(℃)		400	→煙道最終出口温度を記入する。
排出ガス中の酸素濃度(%)		14	→煙道最終出口酸素濃度を記入する。
排出ガス中のダイオキシン 類の濃度(ng-TEQ/m ³ N)		最大 5 通常 1	→ダイオキシン類の濃度は、煙道出口の濃度を記 入する。(処理施設がある場合は、処理した後の 最終出口の値) また、同機種、同原料使用のものであって他工 場・事業場で使用しているものの実測データがある 場合は、そのデータををもとに記入する。 データがない場合は、予測値を記入する。 排出基準値については、別紙参照。
その他参考となるべき事項			

- 備考 1 廃棄物焼却炉にあつては、種類の欄には、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くずその他の廃棄物の種類を、使用割合の欄には、廃棄物の種類ごとの焼却割合を記載すること。
- 2 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、排出ガス中のダイオキシン類の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
- 3 ダイオキシン類の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 「その他参考となるべき事項」の欄には、排出ガスの排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出ガス量の変動の状況を記載のこと。

別紙 3

発生ガスの処理の方法

工場又は事業場における施設番号	NO. 2, 3	→処理施設ごとに適宜番号を記入する。処理施設とは、煙突も含む。
名称及び型式	サイクロン+煙突	→処理施設の名称、型式を記入する。
発生ガスの処理の内容	サイクロンにより除じん、煙突から排出	→処理の内容を記入する。
処理の系統	サイクロン→煙突	→排ガス処理のフローを記入する。別紙に記載してもよい。
施設の設置場所	別図第1図のとおり	→事業場図面を添付する。(敷地内における建物の配置を図示し、主要建物の名称、特定施設並びにサイクロン、煙突等の処理施設の設置場所を明記する。(処理施設等に色をつけてもよい。)) ・・別紙参照
設置年月日	年 月 日	→使用届及び変更届の場合記入し、処理施設施設を設置した日を記入する。
工事着手予定年月日	H16年 10月 10日	→設置届け及び変更届の場合記入し、処理施設に係る関係工事(基礎工事含む)に着手する予定年月日を記入する。
工事完成予定年月日	H16年 11月 10日	→設置届け及び変更届の場合記入し、処理施設に係る工事完成予定年月日を記入する。
使用開始予定年月日	H16年 11月 20日	→設置届け及び変更届の場合記入し、処理施設の本運転を行う日を記入する。
その他参考となるべき事項		

- 備考1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 発生ガスの処理に係る施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。